



●松かさツリー作り組立作業 3時間の作業 10月16日(木)13:00~15:30

木曜日の朝のパソコン教室のあと、午後1時から草内の倉庫で5人(森島、金田、太田、有田、播川)が集まりました。城陽市緑花フェスティバルや久御山町栄自治会祭りに出展させていただき、子ども達に工作を楽しんでいただければと松かさツリーの製作がすすみました。

台木となる5cm程度の太さの枝を厚さ7mm程度への切断作業、そして長さ5cm・太さ6mm程度の小枝の先端を尖がらせた芯づくり、そして松ぼっくりの下の穴あけ作業、各素材を取り付け組立作業などと細かな細工を行いました。特に台座づくりでは本職用の丸鋸を使っての作業ですから簡単な手仕事ではなく2人のコンビがしっかりと息を合わせなくてはなりませんので集中力の継続が必要になります。少し気候が秋らしくなってきた椅子に腰かけての作業でしたので3時間の長丁場をこなす事が出来ました。これまではこの作業をバラバラにして各部品を工作してきましたので成果品の値打ちが分かりにくかったのですが、相当な手間暇をかけた作品であることが実感できました。今日の作業に加えてナンキンハゼの実の収集と精製と着色、そして乾燥などのステップが加わりますので一朝一夕で仕上がるものではありません。すべて身近にある自然素材を活用した値打ちものだと、改めて見直した松かさツリー組み立て作業でした。

●幹部研修会の日程が決まる

イタセンパラの復活をめざす学習と先駆的な竹林活動を学ぶとして岐阜県各務原などを訪れます。多くの方のお世話になれる具体的な計画が



固まりました。①国交省中部地方整備局木曾川上流河川事務所の流域治水専門官の山田さんからイタセンパラの取り組みを午前中に伺い、そして午後には②各務原市NPO森林救援隊の理事長と皆さんや事務局長の神谷さんから竹林での活動紹介をいただき、そして21日の午前中には③アクア・トトぎふの淡水魚水族館とできれば水産研究所、午後は岐阜羽島の④イーエスピー企画の江崎社長さんから銀杏やドローンに係る動きなどについてお話を伺える予定に成って来ました。時間があれば④国宝犬山城も訪れてみたいものです。大変欲張った企



画になりましたが現在6~7名の参加が見込まれています。11月20日(木)8時事務所出発と計画しています。

④



●2025年度竹蛇籠製作講習会を11月8・22日(土)9:00~12:30に実施いたします。

今年の目標は長さ7m(直径45cm)を最低6本・出来れば12本を目指しています。出来上がれば木津川に2月の初旬に設置竣工を計画しています。11月は木津川希少種植生調査管理業務の除草作業(35ヶ所・16,000㎡)があつて厳しい日程ですがやり遂げたいと思っています。12月には恒例となりつつある同志社大学サッカー部ボランティアによる木津川希少種植生調査管理業務の集草作業も予定されています。里山にとっては大切な大仕事ですので力をふりしぼりたいものです。出来れば会員の皆様のご協力をお願いいたします。

●近畿子どもの水辺の取組が、近畿各府県から250人ほどの子ども達が日ごろの活動を発表紹介し交流を深め合います。11月9日(土)

会場は府県が持ち回りで今年は京都府が当番で、9日の午前中は北大路橋上流の鴨川で取り組み午後は歴史館で発表交流会が開催されます。里山の会から中沢君と吉村君が活動の発表を行います。どなたでも参加できますので応援に駆けつけてください。大変多くの皆さんの前での発表経験はあまりなく、子ども達の素晴らしい成長ぶりをご覧になってください。木津川川ガキ団も発表いたします。



●10月26日(日)には2つのイベントが開催されます。

① 京の川の恵みを生かす会

京都大学宇治川オープンラボラトリーにて川の恵みを味わう会 参加費 3000円 当日現場で納入  
京阪中書島下車淀川堤防西へ1.5km 全国各河川のアユの炭火焼きを楽しむ ビワマス等 里山の会は毎年京田辺市の木炭を炭火焼きの燃料として提供しています。昨年の参加者96人、今年の参加予定120人を見込んでいます。

② 城陽市・緑化フェスティバル

城陽五里五里の丘 JR長池駅から徒歩5分  
里山の会は松かさツリー工作で参加いたします。

